



岩手

世界に一つを届けるために  
高倉工芸がつくる  
ほっき  
「南部箒」の魅力

高倉工芸

高倉工芸(岩手県九戸郡九戸村大字戸田第9地割、高倉清勝社長、0195・43・2826、<http://www.nanbuhouki.jp>)が

つくる「南部箒」は、岩手県九戸村で代々続く農家である先代社長・高倉徳三郎が、農閑期の副収入源であった箒の伝統の技と文化の継承をめざし、事業として本格的に手がけたのが契機である。「丈夫で長持ちし、永く愛用していただける箒をつくりたい」という想いをこめ、つくり続けてきた。

高倉社長は、先代の考えを引き継ぎながらも、若い世代に親しみやすい暮らしのアイテムとなるカラフルな色合いの箒や、ナチュラル志向を意識してオーガニックの箒づくりも始めた。また、箒の素材となるホウキモロコシは、土づくりからこだわり農薬不使用で栽培している。

「南部箒」の特長は、オホーツクから冷たく湿ったやませの吹く九戸村の気候条件でしか生まれない独特の「縮れ」を持った素材、刈り取りから選別、編み上げまでの手作業、それらすべてが揃って初めて実現する掃き心地と、掃除機にも負けないゴミを集める力など……伝えたい魅力が満載だ。

これまでに、全国の物産展で販売するほか、ロンドンやパリなどで開催されたさまざまなイベントにも参加し、海外のお客

様にも「南部箒」の魅力を伝えてきた。今後も、世界のお客様に「南部箒」の素晴らしさを発信していく。

「皆様に、最高の箒との暮らしを提供したい。私たちのこだわりの、商品のよさを知って、箒との素敵な暮らしをスタートしてほしい。」高倉社長は、そんな想いで、今日も箒をつくり続けている。



片手で扱うのにぴったりサイズの小箒

暮らしのさまざまな場面で活躍する箒



和洋服のお手入れにおすすめ!